

1 一般会計

(1) 議会費

事業名等	事業費	内容と成果
1 四五都市連絡協議会 (議会事務局)	119,718 円	「友好交流都市協定」を締結している福生市、登別市、守山市によって構成され、行政上の諸問題について情報交換を行った。 なお、平成 27 年度から新都市連絡協議会と四五都市議会協議会を統合し、四五都市連絡協議会として発足した。
2 災害対策用防災服等購入 (議会事務局)	523,260 円	災害時、訓練に対応する際、視認性及び安全性の向上を図るため、管理職用防災服の更新に合わせて、統一したデザインに更新した。 ・防災服上下 19 着 246,240 円 ・編上安全靴 19 足 277,020 円

(2) 総務費

事業名等	事業費	内容と成果
1 四五都市連絡協議会 (秘書広報課)	124,614 円	「友好交流都市協定」を締結している福生市、登別市、守山市によって構成され、行政上の諸問題について情報交換を行った。 なお、平成 27 年度から新都市連絡協議会と四五都市議会協議会を統合し、四五都市連絡協議会として発足した。
2 もくせい会館建設事業 (契約管財課)	220,236,277 円	もくせい会館の老朽化に伴い建設事業を行った。 平成 27 年度は、実施設計及び工事契約に係る入札を行い工事を着手し、解体を開始した。 また、建替え中の代替施設として N T T 福生線路庁舎の借り上げ、福生市商工会の移転補償等を行った。 ・主な内訳 設計委託料 19,440,000 円 工事請負費 558,932,400 円 (うち平成 27 年度分 115,190,000 円) 監理委託料 15,012,000 円 (うち平成 27 年度分 2,268,000 円) 備品等一時保管施設借上料 1,725,677 円 商工会移転補償料 78,428,490 円
3 職員採用試験委託 (職員課)	1,029,132 円	職員採用試験において、従来の教養試験(公務員試験)から民間企業で広く利用されている基礎能力検査に変更し、応募者の増加を図った。 また、より人物重視の選考を実施するために面接官研修を実施した。 ・平成 27 年度採用試験応募者総数 208 名 ・面接官研修実施 平成 27 年 8 月 19 日 14 名受講
4 福生市職員自己啓発活動助成事業 (職員課)	36,700 円	職員の人材育成の取組の一つで、自己啓発活動の支援として資格取得に要した経費の一部を助成した。 ・平成 27 年度助成実績 5 名
5 システム改良委託(福生市公式ホームページ再構築業務) (秘書広報課)	3,859,920 円	分かりやすいホームページの構築をコンセプトとし、増量した情報の整理、ウェブアクセシビリティ(高齢者及び障害者に対する使いやすさ)の向上、インターネット社会への対応等を目的とし、平成 28 年度にリニューアルを実施する。平成 27 年度は、プロポーザルによって決定した事業者の提案を基に、ホームページの設計及び移行準備作業を実施した。

事業名等	事業費	内容と成果
6 新公会計関連システム 導入等委託 (財政課)	121,729,824 円	新公会計制度を平成 28 年度から導入するに当たり、現行の財務会計システムを更新し日々仕訳・複式簿記に対応するとともに、新たに固定資産管理システム等を導入し、各システム間の連携を図った。 ・履行期間 平成 27 年 3 月 10 日から平成 28 年 3 月 31 日まで (平成 26 年度債務負担行為案件)
7 新公会計制度移行支援 委託 (企画調整課)	4,276,800 円	平成 28 年度に導入する新公会計制度へ円滑に移行するため、制度に係るコンサルティング支援等を専門業者に委託した。
8 自由広場詰所解体事業 (契約管財課)	23,596,565 円	福東トモダチ公園に、都市建設部詰所、各種備品等の保管等の機能が移行したため、自由広場詰所の解体を行った。 また、解体前に詰所内の PCB の運搬を適切に行った。 ・自由広場詰所解体工事 20,828,880 円 ・その他 2,767,685 円 なお、詰所解体後は、民間事業者へ土地の貸付けをし、貸付先事業者がファミリー向け賃貸住宅の建設に着手した。 ・参考 土地貸付料 1,409,836 円【歳入】
9 福生市人口ビジョン及 び総合戦略の策定 (企画調整課)	8,251,200 円	まち・ひと・しごと創生法が制定されたことに伴い、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されたことを受け、地方版人口ビジョン及び総合戦略として「福生市人口ビジョン及び総合戦略」を策定した。 ・作成部数 A4判 300 部
10 公共施設等総合管理計 画の策定 (企画調整課)	5,043,600 円	国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、平成 28 年度までに行動計画として「公共施設等総合管理計画」を策定するため、基礎資料として公共施設白書を作成した。 ・契約金額 9,936,000 円 (平成 27 年度及び平成 28 年度)
11 住民情報システム等改 良委託 (情報システム課)	30,305,880 円	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の施行によりマイナンバー制度が実施された。これに対応するため、住民基本台帳システム、地方税務システム、団体内統合宛名システム及び福祉系システムの改修を行った。
12 放置自転車等対策関係 委託料 (安全安心まちづくり課)	13,735,386 円	歩道上への自転車等の放置が特に顕著な JR 青梅線・福生駅西口駅前周辺において指導員を 1 名増員し、放置禁止に係る指導の強化を図った。
13 東福生駅自転車駐車場 設置事業 (安全安心まちづくり課)	13,467,892 円	JR 八高線・東福生駅東口及び西口自転車駐車場の設置工事を実施した。 ・自転車駐車場設置工事 17,808,120 円 ※工期：平成 27 年 12 月 18 日から平成 28 年 6 月 30 日まで 平成 27 年度分 7,120,000 円 平成 28 年度分 (繰越明許) 10,688,120 円 ・フェンス設置工事 1,360,800 円 ・低圧線移設工事負担金 4,987,092 円
14 町会等会館建設費等補 助金 (協働推進課)	38,039,000 円	地域住民の活動拠点である会館の建替え、修繕及び備品の購入経費の一部に補助金を交付し、地域住民の福祉の向上を図った。 ・会館建設費補助金 (1 件) 志茂第二町会 志茂二睦会館新築工事 35,000,000 円 ・会館修繕費補助金 (5 件) 1,840,000 円 ・会館等備品費補助金 (3 件) 1,199,000 円

事業名等	事業費	内容と成果
15 町会・自治会合併特別 交付金 (協働推進課)	329,500円	平成27年4月1日に本町第二町会と本町第三町会が合併したことにより誕生した本町町会に対して交付金を交付し、合併後における本町町会の基盤強化及び財政運営の安定化を図った。
16 境界変更事業図書作成 業務委託 (総務課)	1,026,000円	防災食育センター建設に当たり、道路整備等の必要性から昭島市との境界変更を行うため、法務局への手続に必要な図面等の作成及び広報等に掲載する図面の作成を委託した。
17 番号制度に係る個人番 号カード交付事務 (総合窓口課)	19,259,375円	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、福生市に住民登録のある市民に対し、マイナンバー（個人番号）が記載された通知カードを送付した。 また、希望者に対しマイナンバーカード（個人番号カード）を交付した。 ・通知カード送付人数 58,567人 ・マイナンバーカード交付人数 729人
18 福生市議会議員選挙の 執行 (選挙管理委員会事務局)	25,141,118円	平成27年4月30日任期満了に伴う福生市議会議員選挙を執行した。 ・告示日 平成27年4月19日（日） ・投票日 平成27年4月26日（日） ・当日有権者数 46,197人 ・投票者数及び投票率 23,186人 50.19% ・総事業費 28,089,078円 平成26年度分 2,947,960円 平成27年度分 25,141,118円
19 工事監査事業 (監査委員事務局)	120,580円	工事の設計、積算、施工等について、合理的、能率的に行われているか、不経済な支出や施工不良がないかなど、財務事務、技術面の両面から監査を実施した。なお、工事の技術的な事項に関する監査は、技術士の資格を有する者に委託をした。 ・工事監査対象工事 立川第2排水区整備工事（第1工区） ・工事監査技術調査委託料 120,580円

(3) 民生費

事業名等	事業費	内容と成果
1 臨時福祉給付金給付事 業 (社会福祉課)	78,137,542円	消費税率の引上げによる影響を緩和するため、所得の少ない方に対する暫定的・臨時的な措置として、臨時福祉給付金の給付を実施した。 ・1人当たり支給額 6,000円 ・通知発送数 12,263通 ・申請者数 9,910人 ・支給決定者数 9,716人 ・給付費 58,296,000円 ・事務費 17,868,542円 ・前年度国庫補助金返還金 1,973,000円
2 生活困窮者自立支援事 業 (社会福祉課)	4,707,295円	生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し自立相談支援及び家賃相当額を有期で支給する住居確保給付金事業を実施した。 ・住居確保給付金支給決定件数 22件 ・住居確保給付金支給額 2,499,900円

事業名等	事業費	内容と成果
3 れんげ園防犯カメラ設置 (障害福祉課)	158,760円	れんげ園は、知的障害者が生産活動などを行うことによって社会参加をする施設である。敷地内の防犯対策と事故防止のため、防犯カメラ2台を旧館玄関及び新館玄関を観察できる位置に設置した。 ・借上台数 カメラ2台、ハードディスクレコーダー1台、液晶モニター1台 ・借上料 158,760円 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで) ※借上料(5年)総額 793,800円 借上期間 平成27年4月1日から平成32年3月31日まで
4 手話通訳奉仕員養成研修事業 (障害福祉課)	430,746円	聴覚障害者の福祉に理解と熱意を有する者に対し、手話の指導を行うもの。隔年で実施していた養成研修事業を毎年行うことにより、手話通訳奉仕員の養成を強化し、技術のレベルアップを図った。 ・講習会 年40回開催(受講者8名、修了者5名)
5 在宅介護支援センター運営事業 (介護福祉課)	31,773,000円	80歳以上高齢者宅の全戸訪問を実施し、相談支援体制の強化を図るため、在宅介護支援センターの専従職員を1名体制から2名体制に増員した。
6 産前・産後支援ヘルパー事業 (子ども家庭支援課)	125,020円	妊娠前から出産後の体力が回復するまでの間に育児や家事援助などが必要な妊婦や出産後の親がいる家庭に、市が契約した事業所のヘルパーを派遣し、産前・産後の生活をサポートをし、毎日の生活のリズムを築く援助を行った。 ・利用件数 8件 ・利用延べ日数 43日
7 杉ノ子第三保育園建設費等補助金 (子ども育成課)	13,347,000円	民間保育園園舎建替建設事業に伴い、その一部を助成することで、定員増(130人から135人)により待機児童解消を進め、保育サービスの充実を図った。平成27年度は、工事の進捗率5%に合わせて補助を行った。 ・対象 杉ノ子第三保育園(社会福祉法人志芳福祉会) 保育所等整備交付金(国2/3) 10,169,000円 子ども家庭支援区市町村包括補助事業補助金(都1/8) 1,906,000円 保育園建設費補助金(市1/12) 1,272,000円 ・平成27年度 基本設計、仮園舎建設 ・平成28年度(予定) 園舎引越、園舎取壊、新園舎建設(平成29年2月竣工)、園舎引越、仮園舎取壊
8 保育士資格取得支援事業 (子ども育成課)	12,900円	市内の保育事業者が保育人材を確保するため、保育士資格の取得支援を行った場合、その受験料の半額を支給した。 ・対象者 2名
9 保育所運営委託(施設型給付・市基準:認可保育所) (子ども育成課)	5,596,000円	保育士等のキャリアアップに向けた取組(賃金改善)や多様な保育ニーズに対応するために事業を実施した。 ・保育士等キャリアアップ事業補助金 2,994,000円 ・保育サービス推進事業補助金 2,602,000円 ・対象 社会福祉法人以外が設置主体の認可保育所
10 施設型給付(認定こども園) (子ども育成課)	9,735,000円	保育士等のキャリアアップに向けた取組(賃金改善)や多様な保育ニーズに対応するために事業を実施した。 ・保育士等キャリアアップ事業補助金 4,990,000円 ・保育サービス推進事業補助金 4,745,000円 ・対象 認定こども園

事業名等	事業費	内容と成果
11 地域型保育給付 (子ども育成課)	4,481,000円	保育士等のキャリアアップに向けた取組(賃金改善)や多様な保育ニーズに対応するために事業を実施した。 ・保育士等キャリアアップ事業補助金 2,059,000円 ・保育サービス推進事業補助金 2,422,000円 ・対象 小規模保育園
12 病児保育運営委託事業 (子ども育成課)	28,117,000円	平成27年4月1日から新たに病児保育室を開設した。 ・延べ利用者数 病児保育 471人 病後児保育 248人

(4) 衛生費

事業名等	事業費	内容と成果
1 子育て(予防接種・健診)モバイルサービス事業 (健康課)	1,028,592円	予防接種の接種スケジュールを自動で作成したり、妊娠や出産に関する情報、子育てサービス、保育サービスなどの子育てに関する情報を携帯電話、スマートフォン又はパソコンを通じて提供するモバイルサービス事業を平成27年6月1日から開始した。 ・登録者数 438人 ・システム構築委託及び保守運用委託料 1,028,592円
2 若年健康診査事業 (健康課)	447,067円	市内在住の30歳と35歳の方を対象に平成27年8月1日から平成27年10月31日にかけて健康診査事業を行った。 ※年齢は、平成27年4月1日時点での年齢を対象とした。 ・受診者数 49人 ・消耗品費 10,918円 ・印刷製本費 11,912円 ・通信運搬費 6,010円 ・若年健康診査委託料 418,227円
3 保健センター防犯カメラ設置 (健康課)	173,232円	妊婦や就学前の子どもが多く来庁する施設であることから、防犯機能を高めるために、1階玄関、1階受付及び非常階段1階付近について借り上げにより防犯カメラを設置した。 ・借上台数 カメラ3台、ハードディスクレコーダー1台、液晶モニター1台 ・借上料 151,200円 (平成27年6月1日から平成28年3月31日まで) ※借上料(5年)総額 907,200円 借上期間 平成27年6月1日から平成32年5月31日まで ・保守委託料 22,032円 (平成27年6月1日から平成28年3月31日まで)

(5) 農林水産業費

事業名等	事業費	内容と成果
1 多摩川堤防沿桜管理委託 (環境課)	1,969,380円	多摩川堤防沿いの桜の ^{剪定} 等管理に加え、多摩川堤防沿桜樹木診断の結果、撤去が必要とされた樹木1本に係る措置を行った。
2 多摩川堤防沿桜樹木診断委託 (環境課)	1,404,000円	多摩川堤防沿いの桜の樹木診断を行い、長寿命化と将来管理のために街路樹診断カルテを作成するとともに適切な処置を施すための判定を行った。 ・診断本数 273本

(6) 商 工 費

事 業 名 等	事 業 費	内 容 と 成 果
1 ベースサイドストリート観光事業委託 (シティセールス推進課)	1,597,000 円	国道 16 号沿いの横田基地前商店街（ベースサイドストリートエリア）における情報発信や観光案内を福生武蔵野商店街振興組合への委託により実施した。 ・福生アメリカンハウス開所日数 117 日 来場者数 3,998 人
2 駅前路面歓迎装飾シート設置事業 (シティセールス推進課)	311,904 円	来訪者に対するホスピタリティを高めるため、福生駅西口階段踊り場に「ウェルカムサイン」として、歓迎装飾シートを設置した。
3 福生市観光事業補助金 (シティセールス推進課)	6,020,000 円	観光振興を積極的に推進する団体に対し、観光事業に係る経費を支援し、観光客の誘致、福生市の P R 及び商工業の振興を図った。 ・桜まつり事業 3,120,000 円 ・ほたる祭事業 2,000,000 円 ・観光推進事業 900,000 円
4 プレミアム付商品券発行支援事業補助金 (シティセールス推進課)	66,562,655 円	「地域住民生活等緊急支援のための交付金」の活用事業として 20%のプレミアム付商品券の発行事業を行い、地元消費拡大・地域経済活性化を図った。 また、商品券購入人数（事前申込者）5,231 人のうち任意抽出により 600 人を対象としてアンケート依頼をし、423 人から回答を得た。 ・実施主体 福生市商工会 ・商品券発行総数 28,500 冊 ・総額（プレミアム分含む。） 342,000,000 円 ・商品券利用額 341,250,500 円（99.78%） ・取扱販売店舗数 305 店舗 ・経済波及効果 121,189,000 円 (商品券が契機となった消費。アンケート結果から推計)
5 中心市街地活性化支援事業補助金 (シティセールス推進課)	11,592,409 円	福生駅西口再開発事業の中心市街地活性化に対する有効性の検証と事業化の検討のため、地権者等へのアンケート調査結果をまとめ報告会を開催した。 ・実施主体 福生市商工会 ・アンケート調査 実施時期 平成 27 年 8 月中旬から平成 28 年 1 月下旬まで 回収状況 配布数 100、回収数 62、回収率 62% ・第 1 回報告会（平成 27 年 11 月 2 日実施） 対象 アンケート調査協力者、市関係者等、商工会役員 参加者数 39 名 ・第 2 回報告会（平成 28 年 2 月 9 日実施） 対象 アンケート調査協力者（第 1 回不参加者） 参加者数 15 名
6 福生しごと暮らし支援事業補助金	1,000,000 円	地元企業による雇用と住宅供給面でのインセンティブ供給をパッケージしたポータルサイトを立ち上げ、一体的な情報提供をすることで生産年齢（若年層や子育て世代）に対する福生市定住への付加価値を高めた。 ・実施主体 福生市商工会 ・ホームページ開設（平成 27 年 11 月 11 日） 「福生しごと・暮らしポータルサイト」 ・ホームページ掲載情報 住宅情報 6 社 23 物件 求人情報 18 事業所 44 職種

事業名等	事業費	内容と成果
(シティセールス推進課)		<ul style="list-style-type: none"> ・アクセス件数 平均 170 件/日 ・マッチング件数 1 件 (求人)
7 高齢者対象消費者啓発事業 (シティセールス推進課)	9,361,612 円	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者啓発「悪質商法・振り込め詐欺ゼロキャンペーン」事業委託 (6,389,452 円) 福祉バス 2 台に平成 27 年 9 月 13 日から悪質商法被害防止啓発ラッピングを実施した。 高齢者見守り手 (民生委員、防犯協会、安全安心まちづくり市民ひろば、地域包括支援センター職員、在宅介護支援センター職員、その他一般市民) 向けに悪質商法・特殊詐欺をテーマにした研修会を 3 回 (平成 27 年 10 月 15 日、平成 27 年 11 月 26 日、平成 27 年 12 月 2 日) 実施した。講師は公益社団法人全国消費生活相談員協会及び福生警察署派遣講師。参加者総数 72 名。 消費者相談室の連絡先を記載したグッズや最新の悪質商法被害事例を含めた啓発リーフレット等を作成し、市内の高齢者世帯 (約 10,000 世帯 約 14,000 人) を対象に平成 27 年 12 月 18 日から平成 28 年 1 月 7 日までの期間で配布を行った。 ・備品購入 (2,972,160 円) 電話による悪質な勧誘や販売等を未然に防ぐ自動通話録音機を 500 台購入し、貸与を希望する 65 歳以上の高齢者を含む世帯へ無償貸与を行った (貸与窓口は安全安心まちづくり課)。 (消費者行政推進交付金を活用)
8 キャラクター活用消費者啓発促進事業 (シティセールス推進課)	14,998,003 円	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者啓発「悪質商法退治はたっけー☆☆にお任せ！大作戦」事業委託 (12,198,003 円) 福生市公式キャラクター「たっけー☆☆」を活用した啓発グッズ (シャープペンシル、シール) を作成し、市内イベントで「たっけー☆☆」によるグッズを用いた啓発活動を行った (25 日間)。 消費者問題をテーマにした啓発イベント (脱出ゲーム) を平成 27 年 11 月 1 日に福生第三小学校にて実施し、普段消費者問題になじみの薄い市民に対し啓発活動を行った (参加者数 129 人)。 JR 青梅線区間を走行する電車内でトレインチャンネルを活用した消費者啓発を実施した (平成 28 年 2 月 22 日から 3 月 20 日までの 4 週間。たっけー☆☆が市民を消費者被害から守る内容で「桜まつり」と福生の「和」と「洋」を背景に 3 パターン作成)。 ・福生七夕まつり消費者啓発飾り掲出委託 (2,800,000 円) 第 65 回福生七夕まつり (平成 27 年 8 月 7 日から 8 月 10 日まで) 期間中、たっけー☆☆を活用した消費者啓発飾りの制作及び掲出を行った。 (消費者行政推進交付金を活用)

(7) 土木費

事業名等	事業費	内容と成果
1 地図情報管理システム (道路公園課)	4,785,448 円	<p>既存地図情報管理システムに、地籍調査の成果データを上乘せすることにより (地籍管理システム)、地図情報システムの利便性を向上させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図情報管理システムデータ入力委託料 2,303,704 円 ・地図情報管理システムシステム保守委託料 550,800 円 ・地図情報管理システムプログラム使用料 1,144,044 円 ・地図情報管理システム電算機借上料 543,900 円 ・地図情報管理システム改良委託料 243,000 円

事業名等	事業費	内容と成果
2 道路ストック点検委託事業 (道路公園課)	34,895,728円	道路ストック点検委託については、市が管理する大型カルバート、道路附属物、横断歩道橋、道路のり面工・土工構造物の現状を把握し、異常又は損傷を早期に発見することで、安全かつ円滑な道路交通を確保することを目的に実施した。 路面下空洞調査委託については、道路陥没を未然に防ぎ道路の保全と交通の安全を図れるよう、目視だけでは分からない路面下の空洞を発見する調査を実施した。 ・道路ストック点検委託料 16,308,000円 ・路面下空洞調査委託料 17,992,800円 ・路面下空洞調査委託料その2 594,928円
3 市道第140号線改良事業 (道路公園課)	2,808,000円	国道16号線武蔵野橋拡幅等に伴い、その側道である市道第140号線(狭あい道路)を拡幅することにより、周辺道路網の整備を図るため、設計を行った。 ・設計委託料 2,808,000円
4 市道第73号線改良工事 (道路公園課)	3,132,000円	経年劣化による舗装の老朽化を解消した。 また、福生第二小学校の通学路でもあることから、児童及び利用者の安全確保を図るための改良を行った。 ・延長 86.16m 幅員 5.45m ・カラー舗装工事 155㎡ ・舗装打替工事 139.4㎡ ・工事請負費 3,132,000円
5 市道第188号線改良工事 (道路公園課)	5,508,000円	経年劣化による舗装の老朽化を解消するとともに、熊川駅利用者の安全確保を図るための改良を行った。 ・延長 131.1m 幅員 5.0m ・車道舗装工事 605.7㎡ ・車線分離標設置工 6本(H800) ・工事請負費 5,508,000円
6 市道幹線Ⅱ-10号線(銀座通り)改良事業 (道路公園課)	8,866,800円	車道のインターロッキングブロック舗装の凸凹や破損を改修するため、新規材料による張替工事を実施した。 ・インターロッキングブロック舗装工 244.5㎡ ・工事請負費 8,866,800円
7 橋りょう長寿命化修繕事業 (道路公園課)	8,640,000円	平成25年度に作成した橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、桜橋、加美平第一陸橋及び加美平第二陸橋の補修設計を行った。 ・橋りょう調査、設計委託料 8,640,000円
8 市道第1259号線(福生駅自由通路)改良事業 (道路公園課)	15,671,448円	福生駅自由通路は建築後既に27年が経過しているため、老朽化が進んでおり平成27年度は外壁改良工事を実施した。 ・工事請負費 15,142,248円 ・監理委託料 529,200円
9 市道幹線Ⅱ-19号線外1改良事業	164,017,317円	歩道拡幅、舗装打替等の改良工事を実施し、歩行しやすく自転車で移動しやすい環境整備を推進した。平成27年度は、第3工区及び第4工区(幹線Ⅱ-2号線)の改良工事を実施した。 ・第3工区(平成27年度債務負担) 延長 417.0m 幅員 16.0m 排水施設工、街築工、舗装工、交通安全施設工 一式 全体工事費 146,668,957円 平成27年度分 94,268,957円 全体監理委託料 2,988,360円 平成27年度分 1,918,360円

事業名等	事業費	内容と成果
(道路公園課)		工事請負費 94,268,957 円 監理委託料 1,918,360 円 ・第4工区(平成27年度、平成28年度債務負担) 延長 380.2m 幅員 16.0m 排水施設工、街築工、舗装工、交通安全施設工 一式 全体工事費 167,940,000 円 平成27年度分 67,170,000 円 平成28年度分 100,770,000 円 全体監理委託料 2,700,000 円 平成27年度分 660,000 円 平成28年度分 2,040,000 円 工事請負費 67,170,000 円 監理委託料 660,000 円
10 優良住宅取得推進事業 (まちづくり計画課)	3,886 円	平成27年1月2日から平成30年1月1日までの間に長期優良住宅を取得した子育て世帯に対して、最長5年間にわたって家屋分に係る固定資産税相当額を助成することにより、市内における子育て世代の定住及び住環境の向上を推進する事業を開始した。 ※助成期間は、平成28年度から平成34年度まで ・消耗品費 2,916 円 ・通信運搬費 970 円
11 耐震改修促進計画改定委託 (まちづくり計画課)	3,456,000 円	平成19年3月に策定した耐震改修促進計画の計画期間が終了することに伴い、現時点における耐震化の進捗状況を確認するとともに、今後、福生市が目指すべき耐震化の目標を設定し、安全で安心なまちづくりの一層の推進を図るため、平成28年度から平成37年度までを計画期間とし、耐震改修促進計画を改定した。 ・作成部数 A4判 300部
12 都市計画道路3・4・7号線整備事業 (まちづくり計画課)	13,299,301 円	やなぎ通りの福生駅東口交差点から産業道路の東福生駅交差点までの間(第一工区:延長350m)について、平成28年3月11日付けで事業認可を取得した。 ・職員旅費 17,208 円 ・消耗品費 9,789 円 ・通信運搬費 2,344 円 ・整備業務委託料 13,269,960 円
13 公園緑地整備事業 (道路公園課)	11,944,692 円	公園緑地を適正管理するために、樹木の剪定、林床整備等を実施した。 ・実施箇所 玉川上水緑地日光橋公園、下の川緑地せせらぎ遊歩道公園、中福生公園、熊川公園
14 せせらぎ遊歩道公園法面防護工事 (道路公園課)	28,468,800 円	土砂災害特別警戒区域の下の川緑地せせらぎ遊歩道公園において、のり面の林床整備、崩落防止工事を実施し、土砂災害の軽減を図った。 ・樹木伐採・林床整備 3,658 m ² ・植生マット布設 118 m ² ・落石防護網設置 3,186 m ²
15 第二市営住宅A・B棟で平成28年度に実施する工事施工のための設計委託を行った (まちづくり計画課)	1,912,906 円	第二市営住宅A・B棟で平成28年度に実施する工事施工のための設計委託を行った。 ・消耗品費 19,666 円 ・設計委託料 1,893,240 円

事業名等	事業費	内容と成果
16 第二市営住宅エレベーター設置事業 (まちづくり計画課)	1,910,522 円	第二市営住宅A棟で平成28年度に実施する工事施工のための設計委託を行った。 ・職員旅費 3,822 円 ・消耗品費 19,940 円 ・設計委託料 1,886,760 円

(8) 消 防 費

事業名等	事業費	内容と成果
1 消防団制服等更新事業 (安全安心まちづくり課)	575,100 円	盛夏服の基準が新しくなったことに伴い、比較的着用頻度の高い消防団役員分の更新を行い、指揮系統の統率を図った。 ・消防団盛夏服(新基準)一式(25着) 575,100 円
2 安全安心まちづくりだより発行 (安全安心まちづくり課)	829,755 円	市の災害、消防、交通、防犯の各分野における取組や活動等を市民に理解・周知するため、安全安心まちづくりだよりを年2回発行し、チラシを全戸配布するとともに、同内容のポスターを市内に掲示することで市民の理解度及び安心度を高めた。 ・印刷製本費 チラシ 36,000部×2回=72,000部 392,688 円 ポスター 100枚×2回=200枚 39,960 円 ・配布委託料(全戸配布) 一般家庭 15,486世帯+15,469世帯=30,955世帯 222,875 円 団地 13,489世帯+13,477世帯=26,966世帯 155,323 円 事務費 9,459円+9,450円=18,909 円
3 消防無線受令機購入 (安全安心まちづくり課)	2,894,400 円	平成28年5月31日をもって現在使用しているアナログ波が停止するため、消防団活動の機能維持・向上を図るため、消防救急デジタル無線受令機を平成26年度から配備し、平成27年度に配備を完了した。 ・消防救急デジタル無線受令機(詰所用) 5台 1,047,600 円 ・消防救急デジタル無線受令機(携帯用) 12台 1,846,800 円
4 消防団活動交付金 (安全安心まちづくり課)	5,200,000 円	消防団運営費として交付している活動交付金を、実際の運営経費等を勘案し、増額した。 具体的には、市審査会、西多摩地区消防大会、東京都消防操法大会の開催年(出場)に伴い、訓練援助費を交付することで、消防力の向上を図った。
5 地域防災力向上事業 (安全安心まちづくり課)	16,564,944 円	地域防災の担い手となる消防団及び自主防災組織に地域防災力向上を目的とした補助金を交付し、環境整備を図った。 また、災害時活動拠点となる市内避難所16か所に、新たな備品整備を行った。 ・避難所用備品 7,729,344 円 ・地域防災力向上事業補助金 8,835,600 円
6 災害対策用防災服等購入 (安全安心まちづくり課)	1,958,850 円	管理職に貸与している防災服を視認性及び安全性の向上を図るため、統一したデザインに更新した。 また、災害時、訓練時等の職員識別用としてビブスを購入した。 ・防災服上下及び編上安全靴(55着) 1,511,730 円 ・ビブス(200着) 447,120 円

(9) 教育費

事業名等	事業費	内容と成果
1 教育相談・就学支援事業 (教育相談員報酬) (教育支援課)	19,749,600円	教育センターに配置する教育相談員を4人から1人、心理相談員を3人から6人の体制に見直し、相談内容に沿った効果的な教育相談及び就学支援の充実を図った。 ・専任教育相談員報酬(1人) 2,469,600円 ・心理相談員報酬(6人) 17,280,000円
2 教育センター電動アシスト自転車配備事業 (教育支援課)	177,040円	教育センターの教育相談員及び心理相談員、スクールソーシャルワーカー等が各小・中学校、家庭、保育園等を効率的に巡回するため、電動アシスト自転車2台を購入した。
3 小学校水泳指導補助員等配置事業 (教育指導課)	1,062,000円	小学校で授業として実施する水泳指導の安全を確保するため、教員の補助として配置する水泳指導補助員の配置要件及び謝礼単価の見直しを行った。 ・小学校水泳指導補助員謝礼 433,200円 ・夏季休業中水泳指導員謝礼 628,800円
4 学校ICT推進計画策定委託 (教育支援課)	4,482,000円	文部科学省の策定した教育の情報化ビジョンや福生市教育振興基本計画における教育施策を推進するため福生市立学校ICT推進計画を策定した。 本計画に基づき、ICT環境整備、ICT活用支援を充実させ、子どもたちの学習意欲、興味喚起、理解促進の向上に効果的なICT機器の特長を生かして、「学力の更なる向上、不登校の改善、福生市の特長を生かした英語教育」に重点を置いた魅力ある学校づくりを推進する。
5 学校適応支援室事業 (仕切り板等購入) (教育支援課)	333,612円	子ども応援館2階に設置している学校適応支援室(そよかぜ教室)に仕切り用のアコーディオンスクリーン及びホワイトボードを購入し、異学年の個別指導の充実を図った。 ・アコーディオンスクリーン 5台 274,320円 ・ホワイトボード 3台 59,292円
6 外国人児童生徒就学支援事業 (教育指導課)	1,372,875円	市立小・中学校に在籍する外国人児童・生徒に対し、NPO法人と連携して日本語指導及び日本の生活習慣への適応指導を行い、在籍学級への早期適応を図った。 ・委託料 1,372,875円
7 オリンピック・パラリンピック教育推進校事業 (教育指導課)	3,497,857円	福生第二小学校、福生第三小学校、福生第四小学校、福生第五小学校、福生第七小学校、福生第一中学校及び福生第二中学校が、東京都教育委員会の指定を受け、オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、国際的なスポーツ大会等が国際親善や世界平和に果たす役割を正しく理解し、世界の国々の文化や歴史を学び、交流することを通して国際理解を深め、スポーツを通して心身の調和的な発達を遂げ、進んで平和な社会の実現に貢献することができる児童・生徒の育成に向けて、研究に取り組んだ。

事業名等	事業費	内容と成果
8 小学校通学路見守り体制の整備 (教育総務課)	14,278,007円	<p>通学路見守りボランティアの活用、委託による見守り員の配置（平成27年6月8日開始）、防犯カメラ設置（10台）による見守り体制を整備することにより、児童等の安全確保を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 通学路見守りボランティア事業 268,459円 通学路見守り活動指導員謝礼 21,000円 消耗品費 232,459円 保険料 15,000円 ボランティア登録者数 50人 通学路見守り事業委託 9,812,059円 消耗品費 72,889円 委託料 9,739,170円 延べ日数 1,164日 延べ人数 4,656人 通学路防犯カメラ設置事業 4,197,489円 工事請負費 4,195,800円 電気料金 1,689円
9 小・中学校音楽教育推進事業 (教育支援課)	3,731,130円	<p>「児童・生徒による音楽のまちづくり」をはじめとした音楽教育を推進するため2年間で教育用楽器の整備拡充を図る。平成27年度は不足している楽器を購入した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校（福生第一小学校、福生第二小学校、福生第四小学校、福生第六小学校及び福生第七小学校） アップライトピアノ、長胴太鼓等 計2,638,170円 中学校（福生第一中学校及び福生第二中学校） ティンパニ等 計1,092,960円
10 小学校体育館非構造部材落下防止対策事業 (教育総務課)	156,261,558円	<p>災害発生時、児童の安全確保及び避難所としての機能確保のため、学校体育館の非構造部材である天井等の落下防止対策を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工事実施校 <ul style="list-style-type: none"> 福生第一小学校 工事請負費 46,857,960円 監理委託料 1,477,440円 福生第六小学校 工事請負費 46,516,680円 監理委託料 1,438,560円 福生第七小学校 工事請負費 55,241,080円 監理委託料 1,666,440円 実施設計 <ul style="list-style-type: none"> 福生第四小学校 設計委託料 1,518,480円 福生第五小学校 設計委託料 1,472,040円 その他事務費等 72,878円

事業名等	事業費	内容と成果
12 小学校体育館屋上防水改良事業 (教育総務課)	13,411,440円	非構造部材である天井等落下防止対策工事施工中に雨漏りが発見されたことから、災害時の避難所としての機能確保のための改良工事及びヘリサインを設置した。 ・第一小学校（屋上防水 890.6㎡、ドレン改修 16か所） 工事請負費 6,283,440円 ・第六小学校（屋上防水 810.4㎡、ドレン改修 11か所） 工事請負費 7,128,000円
13 中学校プール改良事業 (教育総務課)	1,026,000円	腐食を原因とする漏水防止及びプールサイドが劣化しており安全を確保するため、塗装等の改良工事を実施する設計を行った。 ・第一中学校 設計委託料 1,026,000円
14 中学校体育館非構造部材落下防止対策事業 (教育総務課)	64,284,604円	災害発生時、生徒の安全確保及び避難所としての機能確保のため、学校体育館の非構造部材である天井等の落下防止対策を行った。 ・工事実施校 第一中学校 工事請負費 57,918,080円 監理委託料 1,735,560円 ・実施設計 第二中学校 設計委託料 1,911,600円 第三中学校 設計委託料 2,657,880円 ・その他事務費等 61,484円
15 中学校体育館屋上防水改良事業 (教育総務課)	6,738,120円	非構造部材である天井等落下防止対策工事施工中に雨漏りが発見されたことから、災害時の避難所としての機能確保のため改良工事を実施した。 ・第一中学校（屋上防水 1,117㎡） 工事請負費 6,738,120円
16 ノロウイルス対策事業 (学校給食課)	349,572円	学校給食に関わる職員（パートタイマー職員を含む。）に対し、ノロウイルスが流行する11月と1月に定期検査を実施して衛生管理の徹底を図り、安全で安心な学校給食を実施した。
17 ふっさっ子の広場事業用パソコン借上 (生涯学習推進課)	176,790円	ふっさっ子の広場（全7広場各1台）において月次報告や業務日誌作成等に使用していた業務用パソコンについて、機器の老朽化等による故障、不具合が頻発していたため、ノートパソコン7台を借り上げ、安定した広場事業の運営を図った。 ・借上契約期間 平成27年6月1日から平成32年5月31日まで（5年長期継続契約） ・電算機借上料 176,790円（5年間総額 1,060,776円）
18 市民会館自動火災報知設備等更新 (公民館)	18,021,515円	設置後約40年が経過し、老朽化した市民会館自動火災報知設備（受信機・感知器）及び非常放送設備を更新した。 ・設計委託料 1,080,000円 ・監理委託料 918,000円 ・工事請負費 14,040,000円 ・休館補償料 1,983,515円
19 松林会館公用車購入 (公民館)	1,023,980円	松林会館の連絡用公用車が、老朽化に加え、荷物の運搬にも支障があり、軽自動車から軽貨物自動車へ買い換えた。 ・備品購入費 1,023,980円

事業名等	事業費	内容と成果
20 わかたけ会館・図書館 記念講演会 (図書館)	50,000 円	<ul style="list-style-type: none"> ・リニューアルオープン記念事業 市民文化活動の拠点として、「暮らしのサポートコーナー」を新設し、関連した講演会を開催した。 ・演題 「暮らしに笑顔を」 ～アイルランド音楽と落語のハーモニー～ ・日時 平成 27 年 5 月 17 日（日）午後 1 時から 3 時まで ・講師 守安功氏・守安雅子氏（アイルランド音楽演奏家） 三遊亭わん丈氏（<small>はなし</small> 噺家） ・場所 わかたけ会館 ・参加人数 60 人 ・講師謝礼 50,000 円
21 図書等配本事業 (図書館)	637,200 円	<p>拝島駅と福生駅に図書返却ポストを設置し、市民の利便性を高めた。</p> <p>また、市立小・中学校（全 10 校）に対し配本事業を行い、学校との連携を強化した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合計 回数 計 1,107 回 冊数 計 27,342 冊 (内訳 市立小・中学校 回数 計 263 回 冊数 計 9,409 冊 拝島駅 回数 計 422 回 冊数 計 7,262 冊 福生駅 回数 計 422 回 冊数 計 10,671 冊) ・備品購入費 637,200 円
22 白梅会館屋上等防水 改良工事 (公民館)	4,212,000 円	<p>老朽化し、雨漏りしていた白梅会館屋上等の防水シート、ドレン、脱気筒等を改修した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事請負費 4,212,000 円
23 茶室福庵防犯カメラ 設置 (公民館)	84,240 円	<p>茶室福庵が無人となる夜間は機械警備にて警戒しているが、純和風の木造建築物を保存し、放火等に対して抑止力を高めるため、機械警備と連動する防犯ライト付カメラを借り上げにより設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・借上機器 防犯ライト付カメラ 4 台、モニター 1 台、記録装置 1 台 ・防犯カメラ借上料 84,240 円(平成 28 年 1 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで) <p>※契約金額 1,684,800 円（5 年長期継続契約） ※契約期間 平成 28 年 1 月 1 日から平成 32 年 12 月 31 日まで</p>
24 古民家維持管理事業 (生涯学習推進課)	3,952,320 円	<p>旧ヤマジウ田村家住宅の維持管理及び公開準備のため、消耗品の購入、屋根裏清掃委託、庭木剪定等管理委託、警備委託等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 125,351 円 ・光熱水費 50,878 円 ・保険料 9,483 円 ・屋根裏清掃委託料 136,080 円 ・庭木剪定等管理委託料 3,024,000 円 ・警備委託料 606,528 円
25 プチギャラリー空調 設備改良事業 (生涯学習推進課)	22,463,827 円	<p>プチギャラリーの空調設備が老朽化し不具合が生じたため、平成 26 年度の設計委託に基づき、改良工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間 平成 27 年 7 月 17 日から平成 27 年 11 月 30 日まで ・消耗品費 9,547 円 ・監理委託料 1,296,000 円 ・工事請負費 21,158,280 円

事業名等	事業費	内容と成果
26 プチギャラリー外壁 改良事業 (生涯学習推進課)	14,245,209円	経年劣化によるプチギャラリーの外壁及び屋上防水改良工事を実施した。 ・実施期間 平成27年6月17日から平成27年11月30日まで ・消耗品費 9,729円 ・監理委託料 398,520円 ・工事請負費 13,836,960円
27 古民家改良事業 (生涯学習推進課)	50,181,120円	旧ヤマジウ田村家住宅の一般公開のため、設計委託及び改良工事を実施した。 ・古民家改良工事設計委託 3,456,000円 ・古民家現況調査委託料 293,760円 ・監理委託料 1,543,320円 ・改良工事(建築) 28,871,640円 ・改良工事(電気設備) 5,313,600円 ・改良工事(空調設備) 9,720,000円 ・駐車場看板設置工事 518,400円 ・駐車場整備工事 464,400円
28 四五都市連絡協議会 スポーツ交流事業選 手派遣委託 (スポーツ推進課)	1,519,689円	平成26年度より四五都市連絡協議会を組織する3市(福生市、登別市、守山市)の子どもたちが、スポーツの交流を通じて将来にわたり協力し、魅力あるまちづくりの推進を目的に実施した。平成26年度は守山市、平成27年度は福生市で実施した。 ・実施期間 平成27年8月6日から平成27年8月8日まで ・派遣委託料 1,519,689円 なお、平成27年度から新都市連絡協議会と四五都市議会協議会を統合し、四五都市連絡協議会として発足した。
29 福生野球場スプリン クラー修繕 (スポーツ推進課)	1,166,400円	福生野球場スプリンクラーの故障に伴い、修繕を行った。 ・修繕料 1,166,400円
30 市営プールろ過装置 修繕 (スポーツ推進課)	2,393,280円	市営プールろ過装置(50mプール)の老朽化に伴い、修繕を行った。 ・修繕料 2,393,280円
31 市営競技場グラウンド 整備委託 (スポーツ推進課)	884,898円	グラウンドに砂ぼこりが立つため、近隣への配慮から、砂ぼこりを抑えるグラウンド整備を年3回行った。 ・委託料 884,898円
32 市営競技場テニスコ ート改良工事 (スポーツ推進課)	1,771,200円	市営競技場テニスコートの老朽化に伴い、コートの改良工事を行った。 ・工事請負費 1,771,200円
33 市営プールシェルタ ー設置工事 (スポーツ推進課)	1,452,600円	熱中症対策用の日よけシェルター及びベンチの設置工事を行った。 ・工事請負費 1,452,600円
34 熊川地域体育館高圧 気中負荷開閉器修繕 (スポーツ推進課)	939,600円	熊川地域体育館高圧気中負荷開閉器の老朽化に伴い、開閉器の交換修繕を行った。 ・修繕料 939,600円

2 国民健康保険特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 レセプト点検委託（柔道整復師等療養費） （保険年金課）	1,499,886 円	柔道整復師等の療養費に対するレセプトの内容点検を行い、過大請求の抑制など医療費の適正化を図った。 ・照会件数 1,263 件 ・削減対象額 1,493,958 円
2 国民健康保険だより発行 （保険年金課）	344,436 円	国民健康保険制度の内容を市民に広く周知するために国民健康保険に特化した広報紙「国民健康保険だより」を作成し、市内全戸配布を行った。 ・印刷製本費 145,800 円 ・配布委託料 198,636 円
3 一般被保険者療養給付費 （保険年金課）	3,712,700,783 円	一般被保険者の疾病及び負傷に対して療養の費用を給付した。 ・一般被保険者 1 人当たり費用額 284,172 円 ・一般被保険者 1 人当たり保険者負担額 207,367 円 ・一般被保険者 1 人当たり年間受診件数 14.26 件 ・1 件当たり費用額 19,922 円
4 退職被保険者等療養給付費 （保険年金課）	182,770,666 円	退職被保険者等の疾病及び負傷に対して療養の費用を給付した。 ・退職被保険者等 1 人当たり費用額 412,778 円 ・退職被保険者等 1 人当たり保険者負担額 288,737 円 ・退職被保険者等 1 人当たり年間受診件数 18.96 件 ・1 件当たり費用額 21,769 円
5 一般被保険者療養費 （保険年金課）	60,567,904 円	療養の給付を行うことが困難であると認めたとき、若しくは緊急その他やむを得ない理由によると認めたとき、又は柔道整復師による施術を受けたときは、療養の費用を一般被保険者に支給した。 ・一般被保険者一人当たり費用額 4,487 円 ・一般被保険者一人当たり保険者負担額 3,383 円 ・支給件数 8,396 件 ・1 件当たり保険者負担額 7,214 円
6 退職被保険者等療養費 （保険年金課）	2,312,224 円	療養の給付を行うことが困難であると認めたとき、若しくは緊急その他やむを得ない理由によると認めたとき、又は柔道整復師による施術を受けたときは、療養の費用を退職被保険者等に支給した。 ・退職被保険者等一人当たり費用額 5,218 円 ・退職被保険者等一人当たり保険者負担額 3,653 円 ・支給件数 322 件 ・1 件当たり保険者負担額 7,181 円
7 一般被保険者高額療養費 （保険年金課）	473,583,677 円	一般被保険者が、同じ月内に同じ病院、薬局等で支払うべき一部負担金（食事療養に係る標準負担額を除く。）が自己負担限度額を超えた場合に支給した。 ・支給件数 8,014 件 ・1 件当たり保険者負担額 59,095 円
8 退職被保険者等高額療養費 （保険年金課）	29,088,049 円	退職被保険者等が、同じ月内に同じ病院、薬局等で支払うべき一部負担金（食事療養に係る標準負担額を除く。）が自己負担限度額を超えた場合に支給した。 ・支給件数 336 件 ・1 件当たり保険者負担額 86,572 円
9 出産育児一時金	36,055,390 円	被保険者が出産したとき、当該世帯主に対して出産育児一時金を支給した。

事業名等	事業費	内容と成果
(保険年金課)		<ul style="list-style-type: none"> ・支給件数 86件 ・1件当たり支給額 390,000円 1件(平成26年12月31日まで) 404,000円 2件(平成27年1月1日から) 420,000円 83件(産科医療補償制度に加入している場合)
10 葬祭費 (保険年金課)	4,300,000円	<p>被保険者が死亡したとき、その葬祭を行ったものに対して葬祭費を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給件数 86件 ・1件当たり支給額 50,000円
11 結核・精神医療給付金 (保険年金課)	5,539,538円	<p>被保険者が「感染症法」及び「障害者総合支援法」に基づく給付を受けた場合に自己負担額(高額療養費を含む。)を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給件数 4,855件 ・1件当たり支給額 1,141円
12 後期高齢者支援金等 (保険年金課)	1,023,438,632円	<p>後期高齢者医療制度の被保険者の健康の保持と適切な医療の確保を図るため、社会保険診療報酬支払基金に対し、支援金及び事務費を拠出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者支援金 1,023,371,236円 ・事務費拠出金 67,396円
13 介護給付費納付金 (保険年金課)	403,476,582円	<p>介護保険法による介護給付費に充てるため、国保加入者のうち40歳以上64歳以下の第2号被保険者数に応じ、社会保険診療報酬支払基金に介護納付金を納めた。</p> <p>62,120円×6,855人=22,356,018円(平成25年度精算分)</p>
14 共同事業拠出金 (保険年金課)	1,874,612,762円	<p>国民健康保険の財政の安定化を図るため、保険財政共同安定化事業及び高額医療費共同事業に要する費用を国民健康保険団体連合会に納めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高額医療費共同事業拠出金 180,229,619円 ・保険財政共同安定化事業拠出金 1,694,381,999円 ・その他共同事業事務費拠出金 1,144円
15 特定健康診査・特定保健指導事業 (健康課)	54,805,731円	<p>平成20年度から医療保険者に義務付けられた特定健康診査・特定保健指導を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査 対象者 12,174人 受診者 5,645人 受診率 46.4% ・特定保健指導 対象者 606人 積極的支援参加者 16人 動機付け支援参加者 71人 実施率 14.4%
16 ジェネリック医薬品 (後発医薬品)差額 通知事業 (保険年金課)	198,624円	<p>医療行為等を受けた被保険者にジェネリック医薬品と先発医薬品との差額を通知することにより、薬価の節減効果を周知し、ジェネリック医薬品の使用を広く普及させ、療養給付費等の歳出削減につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通知書送付(3回) 2,997人 ・後発医薬品利用率 40.8% ・削減効果額 2,291,345円
17 高額療養費資金貸付 (保険年金課)	9,945,637円	<p>被保険者の一部負担金の軽減を図るため、高額療養費に相当する資金を貸し付け、被保険者の療養の給付と生活の安定を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸付件数 49件 ・貸付金額 9,945,637円 ・費用額 48,819,770円

3 介護保険特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 介護保険システム使用料 (介護福祉課)	3,333,312 円	介護保険システムを使用することにより、介護保険事務の効率化を図った。
2 認定審査会委員報酬 (介護福祉課)	6,612,000 円	任命された認定審査会委員により、要介護状態区分判定を行った。
3 認定調査嘱託員報酬 (介護福祉課)	11,687,340 円	要介護状態区分判定のため、要介護認定調査嘱託員による訪問調査を行った。
4 主治医意見書作成料 (介護福祉課)	9,025,560 円	要介護状態区分判定のため、主治医に意見書の作成を依頼した。
5 要介護認定調査委託料 (介護福祉課)	1,555,200 円	遠隔地の認定調査については、当該地の指定居宅介護支援事業者に訪問調査を委託した。
6 介護サービス等給付費 (介護福祉課)	3,059,157,788 円	要介護認定（要介護度 1 から 5 まで）を受けた被保険者で、在宅又は施設入所者に対して、介護サービスを給付した。
7 介護予防サービス等給付費 (介護福祉課)	132,865,894 円	要支援認定（要支援度 1 及び 2）を受けた被保険者に対して、介護予防サービスを給付した。
8 審査支払手数料 (介護福祉課)	3,256,044 円	介護給付費及び公費負担等に関する審査並びに支払事務を、東京都国民健康保険団体連合会に委託した。
9 高額介護サービス費 (介護福祉課)	75,838,110 円	要介護認定を受けて介護サービスを利用している被保険者に対して、サービスの利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額介護サービス費を支給した。
10 高額介護予防サービス費 (介護福祉課)	41,009 円	要支援認定を受けて介護予防サービスを利用している被保険者に対して、サービスの利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額介護予防サービス費を支給した。
11 高額医療合算介護サービス費 (介護福祉課)	9,080,063 円	介護保険と医療保険両方の利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額医療合算介護サービス費を支給した。
12 高額医療合算介護予防サービス費 (介護福祉課)	3,907 円	介護保険と医療保険両方の利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額医療合算介護予防サービス費を支給した。
13 特定入所者介護サービス費 (介護福祉課)	148,293,860 円	低所得者の要介護者が介護保険施設サービスや短期入所サービスを利用した場合、食費及び居住費について、補足給付として特定入所者介護サービス費を支給した。

<p>14 認知症予防事業</p> <p>(介護福祉課)</p>	<p>3,021,593 円</p>	<p>65 歳以上の高齢者で介護保険要介護認定の「要介護」「要支援」に該当しない方で、医師から運動制限を受けていない方を対象とし、一次予防事業対象者は広報等で案内、二次予防事業対象者は基本チェックリスト等を基に対象者を限定して実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次予防事業対象者延参加者 57 人（3 クール実施） 一次予防事業費 1,868,313 円 ・二次予防事業対象者延参加者 29 人（2 クール実施） 二次予防事業費 1,153,280 円
<p>15 地域ケア会議委員報酬</p> <p>(介護福祉課)</p>	<p>289,000 円</p>	<p>学識経験者、医師会、歯科医師会、施設サービス事業所、民生委員、町会長協議会、市職員等から選出された委員 17 名で構成された地域ケア会議にて、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を営む上での課題解決の検討を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議開催回数 3 回 ・委員報酬 8,500 円×34 人=289,000 円
<p>16 委託型地域包括支援センター事業</p> <p>(介護福祉課)</p>	<p>21,763,396 円</p>	<p>平成 27 年 7 月に地域包括支援センター熊川を開設。保健師 1 人、主任介護支援専門員 1 人、社会福祉士 1 人及び事務職 1 人の 4 人体制で運営を開始し、高齢者に関する総合相談、要支援 1・2 に該当した方の介護予防ケアプランの作成及び地域のケアマネージャーの支援を行った。</p>

4 後期高齢者医療特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 広域連合納付金 (保険年金課)	972,068,589 円	<p>後期高齢者医療の事務は、都内区市町村で構成する東京都後期高齢者医療広域連合が、保険料の徴収事務及び健康増進事業以外の事業を執行しており、その事業に必要な負担金を納めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療養給付費負担金 365,057,325 円 ・保険料等負担金 463,395,200 円 ・保険基盤安定負担金 94,915,088 円 ・事務費負担金 17,786,316 円 ・保険料軽減措置負担金 30,914,660 円
2 保健事業 (保険年金課)	29,633,124 円	<p>後期高齢者の健康増進を図ることを目的に、健康診査や近隣の温泉施設の利用助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康診査費 28,976,038 円 ・健康増進費 657,086 円
3 葬祭費 (保険年金課)	16,750,000 円	<p>被保険者が死亡したとき、その葬祭を行ったものに対して葬祭費を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給件数 335 件 ・1 件当たり支給額 50,000 円

5 下水道事業会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 下水道管理システム改良委託 (施設課)	1,409,400 円	平成 24 年に導入した下水道管理システムの長寿命化支援機能は、制度開始当時のパッケージであり、長寿命化支援制度適用範囲が拡大された施設等への対応を図るため、同システムの改良を行った（人孔 躯体調査履歴管理機能、桝・取付管調査履歴管理機能、管渠補修履歴管理機能、桝・取付管改築履歴管理機能及び苦情対応履歴管理機能の追加）。
2 管渠新設改良事業費 (下水道施設整備費) (施設課)	222,593,876 円	下水道事業における事業認可公共下水道の整備及び市内の冠水がみられる箇所について雨水管等の敷設の設計及び工事を実施した。 (汚水) ・志茂 38 番地先 工事請負費 6,593,400 円 ・志茂 227 番地先 工事請負費 13,950,360 円 ・福生 267 番地先 工事請負費 24,697,876 円 (雨水) ・福生 2125 番地 5 先 工事請負費 31,082,400 円 ・熊川 1603～1663 番地先 工事請負費 55,515,240 円 ・本町 58 番地先 工事請負費 22,842,000 円 ・熊川 1403 番地 1 先 工事請負費 11,712,600 円 ・福生 267 番地先 工事請負費 31,819,000 円 ・福生 2323 番地 5 先 設計委託料 4,644,000 円 ・熊川 90 番地先 設計委託料 4,428,000 円 ・福生 1403 番地 1 先 設計委託料 3,780,000 円 ・熊川地内 設計委託料 6,048,000 円 ・熊川 1603～1663 番地先 設計委託料 5,184,000 円 (地下埋設調査) 委託料 297,000 円

